

# 筆文字で

第8回

# 伝えたい ことば 大賞

近年、日常生活において手書きで文字を書く機会が減りつつあります。多くの方に筆で文字を書く楽しさを感じて欲しいと願う企画いたしました。筆文字だからこそ伝わる言葉、あなたの伝えたい言葉を自由な発想で表現してください。

作品集

JDCA

Japan Design Calligrapher's Association

主催：一般社団法人 日本デザイン書道作家協会

助成：一般財団法人 NISSHA財団

後援：毎日新聞社

身延町西嶋和紙の里／株式会社芸術新聞社

株式会社あかしや／株式会社墨運堂

株式会社天来書院／株式会社アートバンク

## ◎幼児の部(未就学児)

◎優秀賞 3名

## ◎学生の部(小・中・高校生)

## ◎一般の部(18歳以上)

◎大賞 各1名

◎毎日新聞社賞 各1名

◎NISSHA財団賞 各1名

◎優秀賞 各2名

◎芸術新聞社賞 各1名

◎あかしや賞 各1名

◎墨運堂賞 各1名

◎天来書院賞 各1名

◎アートバンク賞 各1名

◎入選 各3名

※入賞者には表彰式で賞状および副賞を贈呈

※ことば大賞100選の方には認定証を送付

### ■応募受付期間

2023年6月20日(火)～9月15日(金)

■応募資格 ※必着

国内在住の方(国籍・職業は不問)

### ■応募作品

筆文字で書きたい言葉2文字以上20文字以内(句読点を含む)で考えて表現する。制作は墨または墨汁を使用した筆書き、または筆ペン書きに限る。色は墨色1色(淡墨は不可)とします。タテ・ヨコ自由。欧文も可。これまで国内外で発表されていない作品に限る。また他人の著作権等を侵害しない作品。

※応募者から出品された作品が万が一無断で転載、複製、流用したものであった場合でも、主催者は一切の責任を負わないものとする。また、作品に関し第三者から訴えや抗議がなされた場合、応募者が全責任を負うものとし、主催者に損害が生じた場合、その損害を賠償するものとする。

### ■審査規定

各応募者が考えた言葉が筆文字として、魅力的かつ効果的な表現がなされているか。またその文字が可読性、審美性のあるものかなど。

### ■応募料

無料(ひとり何点でも応募可能)

### ■応募方法【最新の応募用紙をご使用ください】

①作品は1点ごとにA4サイズにモノクロコピーをしたものをお送りください。折曲厳禁、原本は不可。

②複数作品応募の場合、作品1点ごとに応募用紙1枚ずつ必要事項を記入してください。

③団体・学校などで、まとめて郵送しても結構です。

④「応募用紙」は協会のホームページからダウンロードしてください。お名前等は正確にお書きください。

<http://www.j-d-c-a.com/>



### ■郵送先・お問い合わせ

提出物は下記の協会事務局まで、郵便または宅配便でお送りください。

〒104-0032

東京都中央区八丁堀3-11-8 美和ビル6F

一般社団法人 日本デザイン書道作家協会宛

Tel 03-5542-6671

メールアドレス sho@j-d-c-a.com

### ■発表

入選者には10月中旬にご連絡いたします。本年度11月5日(日)に開催予定のJDCAデザイン書道フォーラム2023において表彰式を行います。

### ■作品の返却

提出された作品等は返却いたしません。

ごあいさつ



一般社団法人 日本デザイン書道作家協会  
理事長 久木田ヒロノブ

協会が主催する「筆文字で伝えたいことば大賞」は、子供から大人まで全国の方々に思いの気持ちで筆文字を書いてほしいと考えています。

筆文字だから伝わる言葉、筆文字だから感じる言葉など、自由な発想で楽しみながら筆で文字を書く企画としています。

筆で文字を書くきっかけづくりは、書道文化再生の一翼を担うと同時に、これまで筆を持たなかった方々が、書と向き合える機会にもなります。

私たち日本デザイン書道作家協会は、全国にこのコンペティションを広めることで、新しい書道文化を伝える役割も担っていければと考えています。

# 筆文字で 伝えたい ことば大賞

第8回

## 審査員 (五十音順)



相澤正夫 / 株式会社芸術新聞社代表  
1950年東京都生まれ  
日本書籍出版協会評議員  
日本書籍出版協会研修事業委員会副委員長  
美術書出版会監事



赤松陽構造 / 題字・映画タイトルデザイン  
1948年東京都中野区生まれ。1966年日本大学芸術学部映画学科入学。1969年映画タイトルの仕事を始める。約500のタイトルデザインを担当し現在に至る。代表作「ゆきゆきて神軍」「HANA-BI」「うなぎ」「美しい夏キリシマ」大河ドラマ「八重の桜」他。



味岡伸太郎 / 美術家・タイポグラファー  
1949年愛知県豊橋市生まれ。1984年かな書体「小町」「良寛」をデザイン。これまで仮名書体を中心に、アナログ・デジタル合わせて約130書体を制作。また国内外のギャラリー、美術館で現代美術作品を発表。



岡本光平 / 現代書家  
200回を超える企画個展を国内外で開催。テレビ出演多数。2014年エール大学美術館に作品が収蔵され、大学にて講演と実演。2015年四国八十八ヶ所74番札所甲山寺の大徳46枚に「般若心経曼荼羅」を揮毫。



桐山正寿 / 毎日新聞学芸部記者  
1961年愛知県生まれ。毎日新聞社に入り福井支局、整理部、学芸部、サンデー毎日編集部を経て、学芸部へ戻り、以後書道を担当。「現代の書」の多彩な展開と世界への発信を応援したいと思っている。



來田 淳 / 株式会社アートバンク代表  
筆文字専門サイト「筆文字なび」主幹。2000年に「日本デザイン書道名鑑」を発行、「デザイン書道」が新語となる端緒を開く。現在、デザイン書道の認知度の向上やデザイン書道家の地位向上に取り組む。



佐伯 勉 / デザイン書道家・デザイナー  
1951年鳥取県日野郡生まれ。1994年デザイン筆文字書籍、CD-ROMなど多数発行。2006年日本ハム「美/国」デザイン文字を揮毫。その他、映画、演劇、テレビタイトルなど数多く手がける。独自の文字と墨画、イラストのコラボ作品を制作。



嶋村由紀夫 / 元NHKアナウンサー・ディレクター  
1953年埼玉県生まれ。NHKアナウンサーとして入局。全国各地を勤務後、NHKラジオセンター「ラジオ深夜便」の「明日のことば」では、特に書家インタビューに力を入れている。



祥洲 / 書家  
1958年京都市生まれ。古典から現代アートまで、ジャンルを超えて精力的に作品を発表。独自のカリキュラムによる書指導にも力を注ぎ、多くの若き書人達を輩出しています。2014年NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」題字を揮毫。



比田井和子 / 株式会社天来書院会長  
比田井天来の次男である比田井南谷の長女。1990年に出版社「株式会社天来書院」を創設。書道書籍・DVD・講演などで、芸術書道を紹介している。2000年から2年間、佐久市立天来記念館館長を務める。



美登英利 / デザイン書道家・デザイナー  
1955年愛媛県生まれ。書をモチーフとした作品やタイポグラフィーを主とした広告、CDジャケット等のグラフィックデザインを手掛ける。書の作品集「sho by mito」、「書林—美登英利作品集」、新刊「デザイン書道マニュアル」を出版。タイポグラフィー学会会員。

JDCA=一般社団法人 日本デザイン書道作家協会  
この協会は1988年に設立し、2011年4月に一般社団法人として現在の協会名になりました。日本デザイン書道作家協会=JDCAとはJapan Design Calligrapher's Associationの略です。広告媒体をはじめ、デザインの視点で表現された書をデザイン書道とし、あらゆる書き文字を専門とする職業を「デザイン書道家」と位置づけました。より高度な完成度の要求にも対応すべくエキスパート集団として、各種の情報交換や研鑽、デザイン書道家の社会的認知の向上を目指して活動しています。

## デザイン書道のプロサイト オーダーメイドサービス「筆文字なび」

www.sho.ne.jp

「筆文字なび」9:00~18:00 土日祝休 ©筆文字のご用命は 075-255-5555 info@sho.ne.jp 株式会社アートバンク 京都市中京区御池通堺町東下ル 吉岡御池ビル 6F

## 使い継がれて半世紀。安心・信頼の玄宗墨液シリーズ。



玄宗 墨液 500ml  
価格 1,870 円 (税込)



玄宗 中濃墨液 500ml  
価格 1,980 円 (税込)



玄宗 濃墨液 500ml  
価格 2,090 円 (税込)



玄宗 超濃墨液 500ml  
価格 2,200 円 (税込)

「玄宗」は固型墨の持つ「書き味」「のび」「紙への浸透性」「表具性」すべてを兼ね備えた液体墨として開発されました。のびが良く、書きやすい液体墨で、低温時の粘度変化も少なく年間を通して安定した状態でお使いいただけます。各濃度での漢字・調和体の練習、作品づくりに適しています。

創業文化二年  
発売元 墨運堂  
〒630-8043 奈良市六条1-5-35  
Tel: 0742-52-0310  
Fax: 0742-45-6880  
URL: http://www.boku-undo.co.jp/